for Happy
Gardening Life

Do-Ga

"Do-Ga" enhances the love of your garden and the quality time with your family.

Kusayaki

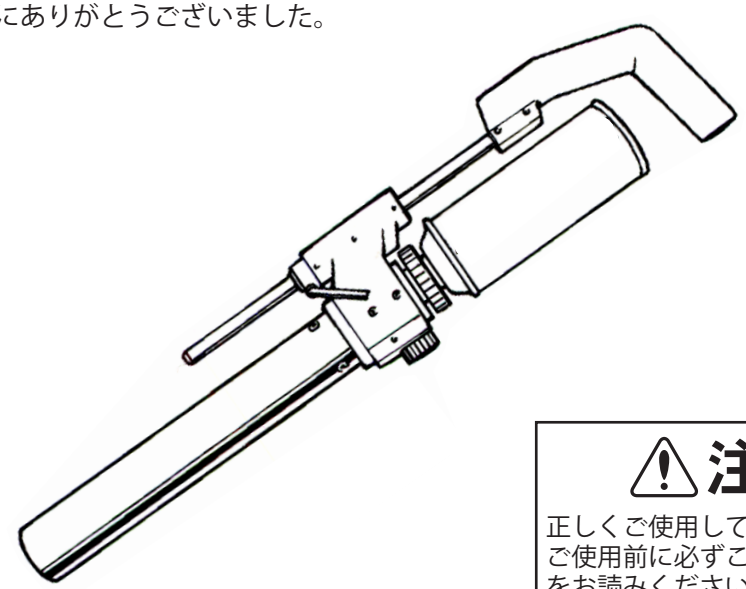
カセットガス式バーナー

GT-100
GT-100P
GT-100WP

取扱説明書

〈生産物賠償責任保険付・保証書付〉

このたびは本製品をお買い上げいただき
まことにありがとうございました。



⚠注意

正しくご使用していただくため
ご使用前に必ずこの取扱説明書
をお読みください。またお読み
いただいた後も大切に保管して
ください。

目次

特に注意していただきたいこと・・・1〜2
各部の名称　・・・・3
使用方法　・・・・4〜5
故障・異常の見分け方と処置方法・・6
日常の点検・手入れ・保管　・・・・6
アフターサービス　・・・・7

屋外専用

◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある ⃠ マークは禁止、❗ マークは強制を表します。

⚠危険

（取扱いを誤った場合、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。）

■ボンベ過熱厳禁

●炎や熱をボンベに近づけないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発する危険があります。

■火口ののぞき込み厳禁

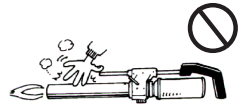
●着火時、使用中及び消火時は火口をのぞき込んだり人に向けたりしないでください。やけどの恐れがあります。

⚠警告

（取扱いを誤った場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。）

■やけどに注意

●燃焼中や消火直後は、火口及びその付近があつくなっていますので手を触れないでください。やけどのおそれがあります。

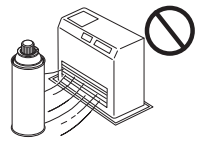


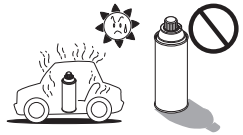
■ボンベ交換時消火

●ボンベの交換は必ず火を消してから行ってください。火をつけたまま交換するとやけど、火災の危険があります。

■使用容器(ボンベ)の取扱上の注意

●使用容器(ボンベ)はDo-Ga製品専用容器(ボンベ)GT-700、760を必ずご使用ください。
●容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。
●容器(ボンベ)の過熱により爆発する恐れがありますので以下のような行為は禁止します。
・容器(ボンベ)を火の中に投げ入れる。
・容器(ボンベ)をストーブ、ファンヒーターなど熱気あたる所や直射日光の当たる場所、また高温になる場所に放置する。
※特に自動車内は非常に高温になりますので注意してください。
・容器(ボンベ)が40℃以上になる場所で使用する。





●使用しない時は、容器(ボンベ)は40℃以下の湿度の少ない場所にキャップをして保管してください。また容器(ボンベ)はときどき点検して錆が発生している場合にはできるだけ早く使用してください。
●容器(ボンベ)に強い衝撃をあたえないでください。

■使用済み容器(ボンベ)の処理に関する注意

●容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がする場合にはまだガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、火の中に投入すると爆発する危険があります。
●容器(ボンベ)は完全に使い終わってから他のゴミと区別して捨ててください。
●容器(ボンベ)にまだガスが残っている場合は、完全に使い切ってから捨ててください。

◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある ⃠ マークは禁止、❗ マークは強制を表します。

⚠警告　火災に注意

■可燃物近接厳禁

●火気厳禁の場所、家屋、板べい、カヤぶき屋根、はめ板などの燃えやすいもののそばでは火災の原因になりますので絶対使用しないでください。可燃物からは3m以上離れて使用してください。

●使用の際は、消火用の水又は消火器を用意し、火災には十分注意してください。
●風の強いとき、火災の発生の恐れがある時は使用しないでください。
●火災は思いもかけぬことから発生することがありますので十分注意してください。

■消火を確認

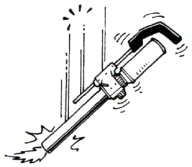
●使用後はバーナーや燃やしたものの消火を必ず確認してください。
必ず水をかけ、火だねが残っていないことを確認してください。

●使用後、時間をおいてから再度消火を確認してください。
●燃やしてはならない物、場所にはあらかじめ水をかけておいてください。
●植木など生木でも燃えることがありますので十分注意してください。

⚠注意　（取扱を誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害のみの発生が想定されることを示します。）

■落下禁止

●手でしっかりと持って作業してください。
予想しない事故が発生する恐れがあります。



■上向き使用禁止

上に向けて使用しないでください。

■屋外専用

●必ず屋外で使用してください。又、容器(ボンベ)の着脱も屋外で行ってください。

■子供に注意

●お子様には絶対使わせないようにしてください。またお子様の手の届かぬ場所に保管してください。

■異常時使用禁止

●正しい使用方法を行っても異常燃焼を起こした場合、又「故障・異常の見分け方と処置方法」の手順を行っても症状が改善されない場合は使用しないでください。ご不明な場合はご自分で修理なさらずに、お買い求めになった販売店又は当社「お客様係」ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ(0120)75-5000までご相談ください。
■使用の際は、まわりに人や動物がいないことを確かめてください。
■使用しない時はボンベをはずしてください。

◆アフターサービス

アフターサービスを依頼する前に「故障・異常の見分け方と処置方法」を見てもう一度確認してください。確認の上ご不明な場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めになった販売店または当社「お客様係」フリーダイヤル 0120-75-5000までご相談ください。

Do-Ga Kusayaki GT-100・GT-100P・GT-100WP 保証書

この製品は万全を期していますが正しい使用にもかかわらず万一故障した場合は本保証書に製造番号、お買上げ年月日、販売店名、ご芳名、ご住所、お電話番号および症状をお書き添えのうえ、お買上げの販売店名に修理をご依頼ください。

製品名・型式	Kusayaki GT-100・GT-100P・GT-100WP	ご芳名
製造番号		ご住所
保証期間	お買上げ日より1年間	
お買上げ日	平成　年　月　日	お電話　（　）

取扱販売店・住所・電話番号	症状

新富士バーナー株式会社

品質保証規定

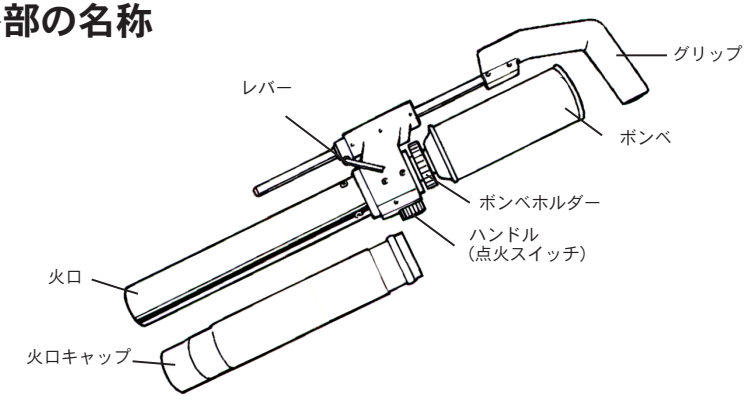
※この保証規定は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
1.保証期間内に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った正常なる使用状態において、万一故障した場合には、無料で修理いたします。
2.修理依頼時には、つぎの事項にご注意ください。
・必ず商品と本保証書をご提示ください。
・保証期間を過ぎた修理依頼も商品と本保証書をご提示ください。
・商品と本保証書の提示のない場合は、修理をお断りすることがあります。
・ご贈答品等で本保証書にお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、当社「客様係」フリーダイヤル 0120-75-5000までご連絡ください。
3.保証期間内でも、つぎの場合は有料修理になります。
・火口、ノズル、気化器(予熱パイプ)、パッキン類等の消耗品の交換。
・使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・お買い上げ後の落下、移動、輸送等による故障及び損傷。
・火災、地震、水害、落雷、塩害、弊社指定以外の燃料使用によるもの、その他、天災地変、公害による故障及び損傷。
・保証書の提示がない場合。
・本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4.本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
5.本保証書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

for Happy Gardening Life
Do-Ga
"Do-Ga" enhances the love of your garden and the quality time with your family.

製造発売元
新富士バーナー株式会社
〒441-0314
愛知県宝飯郡御津町御幸浜1号地1-3
TEL0533-75-5000(代) FAX0533-75-5033
http：//www.shinfuji.co.jp/
MADE IN JAPAN

◆各部の名称

■各部の名称



■仕様

寸　法	145(高)X75(幅)X620～730mm(可変)
重　量	1.1kg
火口径	⌀ 50mm
炎サイズ	⌀ 50mm×300mm
炎温度	1,300℃
使用燃料	Do-Ga製品専用容器(GT-700,760)
使用時間	GT-100(GT-700使用時)　約10～30分(ボンベ1本) GT-100P,100WP(GT-760使用時) 約9～30分(ボンベ1本)
発熱量※	GT-100(GT-700使用時)　20.9kW(18,000kcal/h) GT-100P,100WP(GT-760使用時) 25.6kW(22,000kcal/h)

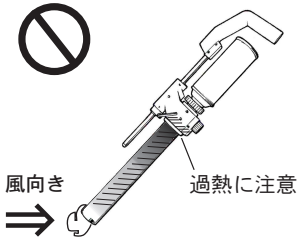
※5分間の燃焼データを1時間に換算したものです。

⚠注意　火口キャップについて

本製品には火口内部の気化器を保護し、火口をクリーンに保管するため火口キャップが付属されています。
使用する時は火口キャップを外してください。使用後は火口が十分冷めた事を確認してから火口キャップを火口の根元までかぶせて保管してください。火口が十分冷める前に火口キャップをかぶせると、火口キャップが破損する事がありますので注意してください。

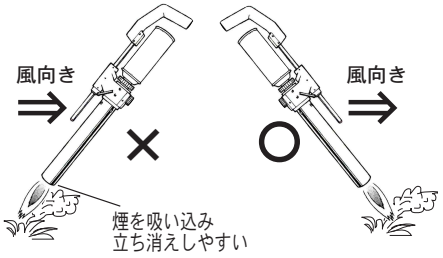
⚠注意　本体の過熱注意

弱火状態で、火口を向い風に向けて使用すると熱気により本体が過熱し、やけどや過熱による本体の破損のおそれがあります。極端な弱火状態や向い風に向けて使用しないでください。



⚠注意　煙による立ち消え注意

作業中、焼却物から出る煙を吸い込み炎が立ち消えすることがあります。火口を必要以上に焼却物に近づけたり、雑草の中に突っ込んだり、また強風時および向い風では使用しないでください。



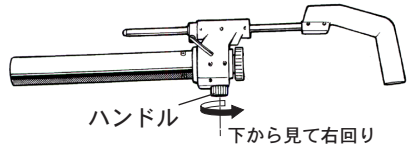
◆使用方法

■ボンベの取り付け

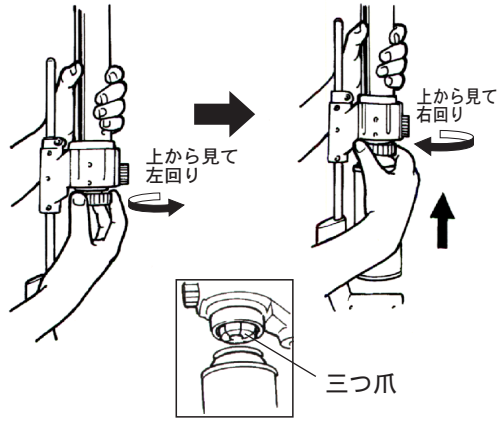
⚠注意

必ず屋外で行ってください。

1.周囲に火気などのないことを確認します。
2.ハンドルをCLOSE(ハンドルの下から見て右回り)の方向へ回し完全に閉じていることを確認します。



3.火口を上に向け、ボンベが直立で取り付けられる状態にします。
4.ボンベホルダーを、OPEN(ボンベホルダーの上から見て左回り)の方向へ止まるまで回します。



5.ボンベのカップを三つ爪に押し込みます。
6.ボンベホルダーを、CLOSE(ボンベホルダーの上から見て右回り)の方向へ止まるまで回しボンベを固定します。

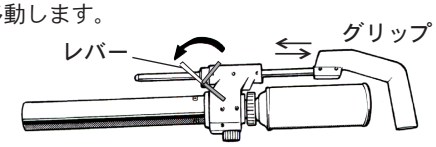
燃焼時は、ボンベの切り込みを下へ向けてください。切り込みを上へ向けての連続使用は燃料の残量が少なくなったとき炎が途切れることがあります。

⚠警告

ガス漏れに注意してください。容器(ボンベ)取り付け後、”シュー”というガス漏れの音やガスの臭気がする時は、容器(ボンベ)が正しく取り付けられていませんので、もう一度注意して確実に取り付けてください。それでも”シュー”という音が消えないときはガス漏れの恐れがありますので、使用を中止して点検・修理を依頼してください。

■グリップの固定

1.レバーを左へ回しゆるめるとグリップは自由に移動します。

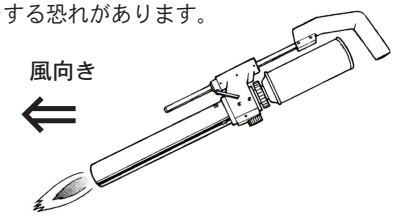


2.グリップを好みの位置に移動した後、レバーを右へきつく回しグリップを固定します。

■点火

⚠注意

風のある時は火口先端へ風が流れる様追い風で、点火操作を行ってください。
向い風で操作すると火が手元まできてやけどをする恐れがあります。



⚠危険

火口ののぞき込み厳禁

着火時、使用中及び消火時は火口をのぞき込んだり人に向けたりしないでください。やけどの恐れがあります。

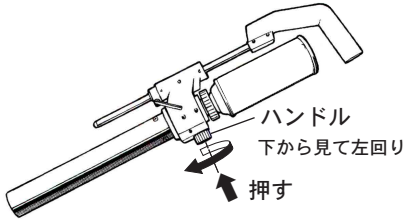
1.ハンドルをOPEN(ハンドルの下から見て左回り)の方向へ少し開き、生ガス(気化されずに噴出する白い霧状のガス)が出ないことを確かめてからハンドルを押しガスに点火します。
点火しない時はこの操作を繰り返します。

⚠警告

生ガス(白い霧状のガス)が出た時は、点火操作はしないでください。生ガスに点火すると、赤い炎が大きく燃え上がり、やけど、火災の恐れがあります。
生ガスが出た時は一度ハンドルを閉じ、しばらくしてから再度ハンドルをほんの少しだけ開き、生ガスが出ないことを確かめてから点火スイッチを押してください。

⚠注意

雑草に火口を突っ込んで焼却したりすると、火口先端部の点火装置の故障の原因になります。またガスの勢いが強すぎたり、気温、風、湿度などの自然条件により点火がうまくいかない場合があります。このような場合は生ガスが出ないことを確かめてライターなどで点火してください。



■火力調整

火力の調整は炎を確認しながらハンドルで調整します。

■緊急時の消火方法

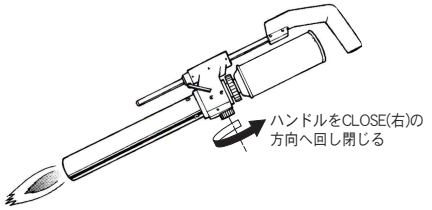
手元に大きな炎がきたり、本体樹脂が燃え上がるなど緊急の場合は、まずハンドルを閉じ、水につけるか消火器を使って消火します。消火を確認後ボンベを取り外し、お買い求めになった販売店または当社「お客様係」フリーダイヤル0120-75-5000まで点検、修理を依頼してください。

⚠注意

消火用の水、又は消火器を必ず準備してから使用してください。

■消火

1.ハンドルをCLOSE(ハンドルの下から見て右回り)の方向へ回し完全に閉じます。生ガスが残留しているため火がすぐに消えませんが10〜20秒で消えていきます。



2.完全に消火した後、ボンベを取り外し作業を完了します。

⚠警告

完全消火を確認後ボンベを取り外してください。

◆故障・異常の見分け方と処置方法

原因＼現象	火力が弱い	炎の色が赤い	着火し(ガスは出ている)ない	ガスが出ない	ガスのにおいがする	処置方法
ノズルのつまり	○	○		○		点検・修理を依頼する。
燃料が残り少ない	○					残りの燃料を使いきってから、新しいボンベと交換する。
生ガス(白い霧状のガス)が出ている		○				一度ハンドルを閉じ、ガスの噴出量を少なくして着火する。
ガス噴出量が多い			○			一度ハンドルを閉じ、ガスの噴出量を少なくして着火する。
ボンベの取り付け不良				○	○	ハンドルを閉じ、一度ボンベを取り外し、もう一度ボンベを説明書どおり取り付ける。
点火装置の故障			○			点検・修理を依頼する。

◆日常の点検・手入れ・保管

■点検・手入れの際の注意

- ●日常の点検、手入れは必ず行ってください。
- ●点検、手入れは消火し、火口が完全に冷めてから行ってください。
- ●故障又は破損と思われるものは使用しないでください。
- ●不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めになった販売店または当社「お客様係」フリーダイヤル 0120-75-5000までご相談ください。

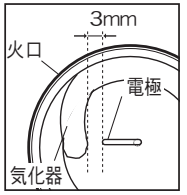
■保管

- ●使用しない時は容器(ボンベ)を取外して保管してください。
- ●火口キャップを火口の根元までしっかりかぶせて保管してください。
- ●子供の手の届かぬ場所に保管してください。
- ●直射日光の当たる場所に放置したり、雨ざらしにしないでください。
- ●転倒・落下させないでください。

点火装置の調節について

※必ずハンドルを完全に閉じ、ガスが出ていないことを確認して行ってください。

衝撃等により、火口先端部の電極の位置がずれ、点火スイッチを押しても火花が飛ばない場合は点火できません。
電極と気化器との距離が図のように約3mmになるように調節してください。それでも点火しない場合は点検・修理を依頼してください。



火口先端部

上手な雑草の焼却方法

生えはじめに焼き払う

雑草は生えはじめに焼き払うのが最も効果的で簡単です。また焼くことにより害虫退治、土壌の殺虫、殺菌、活性化、雑草の種・毛根の焼却など様々な効果があります

二度焼きが効果的

長く伸びきってしまった青草を焼く場合は一度に焼ききろうとせず、ゆっくり歩くぐらいの速度で一度簡単に焼いてください。2〜3日後、青草は枯れています。さらにもう一度枯れたものを焼却すれば効率よく処理できます。